

ADDITIONAL TECHNICAL INFORMATION

試験報告書

「被着体2種類」に対する Hamatite SC-AU7 の簡易接着性試験結果

改定が無い限り 2029 年 7 月まで有効

目的

被着体[コンクリートブロック及び陽極酸化被膜アルミニウム板]に対する弊社製シーリング材「Hamatite SC-AU7」の接着性を確認するために簡易接着性試験を行いました。

まとめ

接着性の判定基準に基づく評価結果のまとめを表 1 に示します。

表 1 簡易接着性試験結果のまとめ

被着体	シーリング材	プライマー	試験項目
			養生後
コンクリートブロック	Hamatite SC-AU7	No.80	○
陽極酸化被膜アルミニウム板	Hamatite SC-AU7	No.80	○

判定 ○: 接着良好 ×: 接着不良

注意

国土交通省大臣官房官庁営繕部発行 令和4年版 公共建築建築仕様書(建築工事編集)によると、同じ材料の組み合わせで実施した試験成績書があり、監督職員の承諾を受けた場合を除いて、施工に先立ち、接着性試験を行うことと記載されております。

また同じ被着体の名称に於いても、実際には被着体の材質、接着面の状態、現場の環境等異なる可能性がありますので、実現場で使用される被着体にて接着性試験も行うことを推奨致します。

1. 使用材料

被着体の詳細を表 2 に示し、評価したシーリング材、プライマーを表 3 に掲載します。

表 2 被着体の種類

品名	メーカー
コンクリートブロック	弊社在庫品
陽極酸化被膜アルミニウム板	弊社在庫品

表 3-1 シーリング材

製品名	ロット	種類
Hamatite SC-AU7	AN3802	2成分形アクリルウレタン系

表 3-2 プライマー

プライマー	ロット	備考
No.80	O12501	—

2. 試験の種類・試験項目・条件

被着体[コンクリートブロック及び陽極酸化被膜アルミニウム板]に対する弊社製シーリング材[Hamatite SC-AU7]の接着性試験を、『国土交通省公共建築工事標準仕様書』シーリング材との接着性評価試験(簡易接着性試験)にて行いました。試験条件を表 4 に示します。

表 4 試験の種類・試験項目・条件

試験の種類	条件
簡易接着性試験	23±2 °C (50±5)% RH×28 日間

3. 試験方法

- (1) 接着面を工業用トルエンにて清掃する。ただし、コンクリートブロックはレイタンスをサンドペーパーなどで除去後、刷毛で清掃した。また、花崗岩は刷毛で清掃した。
- (2) ポリエチレン製バックアップ材にて目地を作製した。
- (3) 所定のプライマーを塗布し、常温にて 60 分以上風乾した。
- (4) 所定のシーリング材を目地に打設し、試験体を作製した。
- (5) 作製後、表 4 の養生を行った。
- (6) 養生後、試験体端部のシーリング材を 180°の方向にシーリング材を引張り、シーリング材が凝集破壊 (CF) または薄層凝集破壊 (TCF) の場合には、接着性は良好と判断した。試験方法は図 1 をご参照ください。

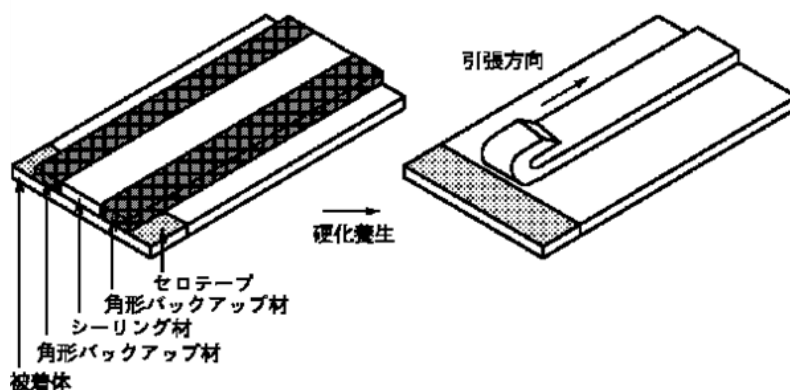


図1 簡易接着性試験方法

4. 接着の判定方法

シーリング材の接着性は、破壊状況を目視で観察して行う。破壊状況を CF, TCF, PS, AF, MF の 5 段階にわけて、その割合をトータルで 100% にして表示する。

- CF : シーリング材の凝集破壊
- TCF : シーリング材の薄層凝集破壊
- PS : プライマーとシーリング材間での破壊
- AF : プライマーと被着体間の界面破壊
- MF : 被着体破壊

5. 接着性判定基準

弊社製シーリング材の接着性を以下の接着判定基準に基づき評価した。

- (○) シーリング材が凝集破壊 (CF) または薄層凝集破壊 (TCF) の場合
- (×) シーリング材が凝集破壊 (CF) または薄層凝集破壊 (TCF) 以外の場合

6. 試験結果

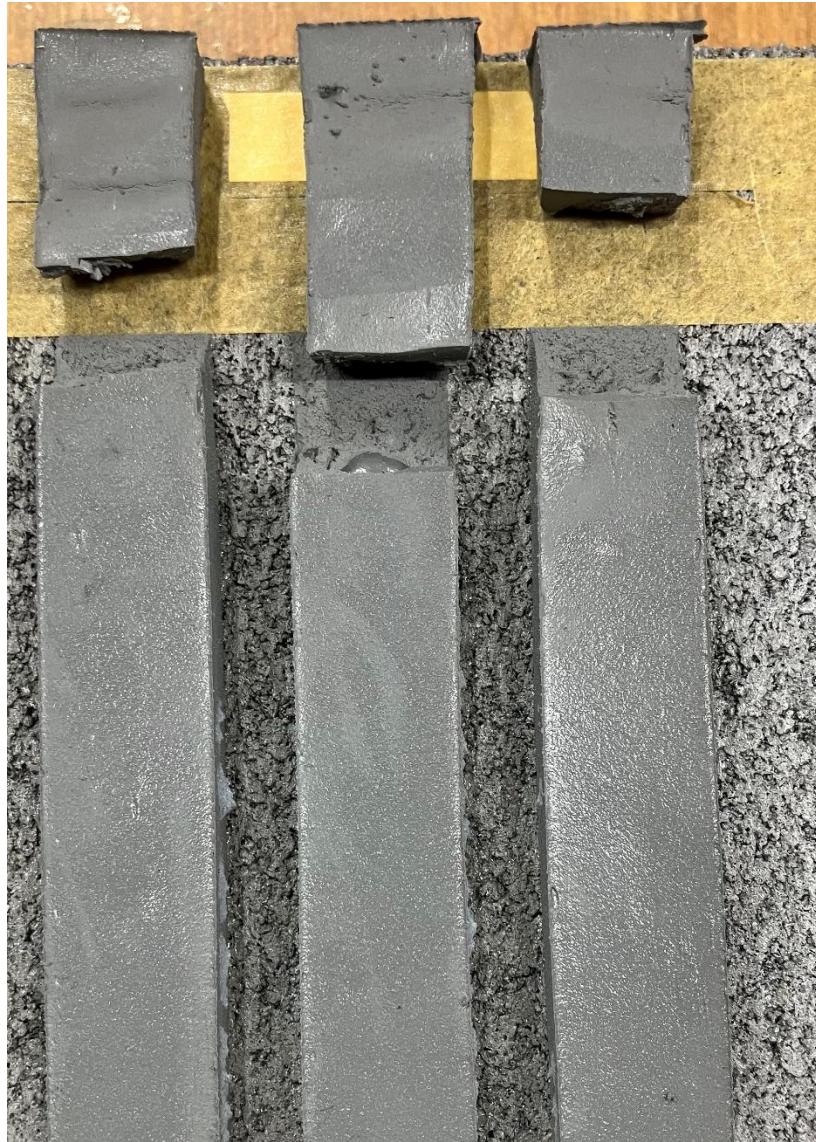
手剥離接着性試験結果を表 5 に示します。試験体後の被着体写真をご参照ください。

表 5 簡易接着性試験結果

シーリング材(プライマー) : Hamatite SC-AU7 (No.80)								
被着体	試験項目	N 数	破断状況					判定
			CF	TCF	PS	AF	MF	
コンクリートブロック	養生後	1	100					○
		2	100					
		3	100					
陽極酸化被膜アルミニウム板	養生後	1	100					○
		2	100					
		3	100					

判定 ○ : 接着良好 × : 接着不良

被着体 : コンクリートブロック

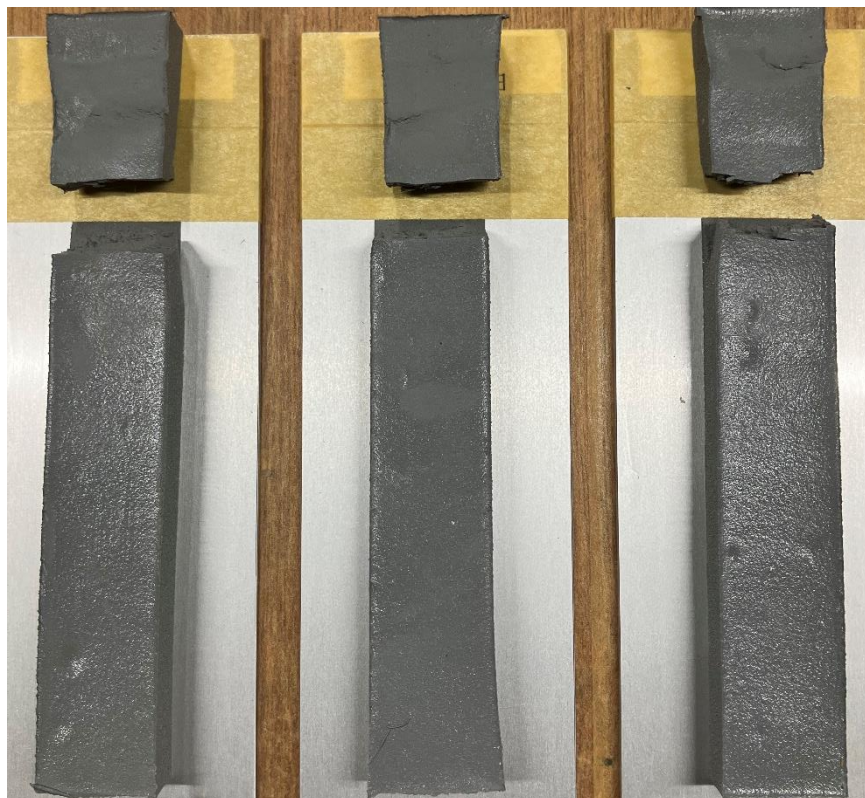


N1

N2

N3

被着体 : 陽極酸化被膜アルミニウム板



N1

N2

N3

備考

参照文書 : JP2_SB-2024-00174-TKo

以上

免責事項: 本書に記載されている、当社製品の施工及び使用に関する情報およびアドバイス(あわせて以下「本件情報」といいます。)は、Sika が現時点での知識及び経験に従い誠意をもって提供するものであり、当社製品が適切に保管され、適切に取扱われ、また、Sika の推奨に従って通常の状況下で適切に施工されることを前提としております。本件情報は、本書に明記された施工条件による施工と明記された製品にのみ適用されます。例えば被着材の変更など、施工条件が変更される場合、または、異なる用途で使用される場合は、Sika 製品を使用する前に、Sika 技術サービス部門にお問い合わせ下さい。本件情報は、使用者が意図する製品の用途や目的について検証することを免除するものではありません。すべての注文は、Sika の現時点での販売条件と納品条件に従うことを条件として、受注いたします。使用者は、使用される製品に関する最新のプロダクトデータシートを常に参照して下さい。それらのコピーはご要望に応じて提供いたします。

© 2013 Sika Schweiz AG